

解答プリント「中学社会・歴史分野」

■確認プリント

単元:2 古代国家の歩みと東アジア世界

【評価の観点】 ㉔：思考・判断・表現 ㉕：技能 ㉖：知識・理解

解答例	解説
<p>㉖ (1) 冠位十二階</p> <p>㉕ (2) ア</p> <p>㉖ (3) 隋</p> <p>㉕ (4) 法隆寺</p>	<p>㉖ (1) 冠位十二階は 603 年に定められた。12 に色分けした冠を位によって与えた。</p> <p>㉕ (2) 604 年に定められた十七条の憲法は、仏教・儒教の影響を強く受けている。豪族に対して天皇の命には従うことなどを示している。</p> <p>㉖ (3) 中国では 589 年に隋が南北朝を統一し、中央集権政治を進めていたが、黄河と長江を結ぶ大運河の建設、高句麗への遠征などにより衰え、建国から 30 年余りで滅びた。</p> <p>㉕ (4) 文化とは飛鳥文化のこと。写真の法隆寺は聖徳太子が建立し、一度火事により消失した後に再建されたものとされている。</p>
<p>㉕ (1) ① D, 租・調・庸</p> <p>㉕ ② A, 延暦寺</p> <p>㉕ ③ C, 正倉院</p> <p>㉕ ④ B, 公地・公民</p> <p>㉖ (2) 白村江の戦</p>	<p>㉕ (1) ① 大宝律令である。都は藤原京に置かれていた。</p> <p>㉕ ② 最澄が天台宗、空海が真言宗を開いた。最澄・空海は 804 年に遣唐使とともに唐に渡っている。都は平安京に置かれていた。</p> <p>㉕ ③ 平城京の東に位置する東大寺は、聖武天皇により造営された。</p> <p>㉕ ④ 大化の改新は 645 年に始められた。646 年に出された改新の詔で公地・公民の原則が示された。645 年に難波宮に都が移されている。</p> <p>㉖ (2) 日本と親密な関係にあった百済が新羅・唐により 660 年に滅ぼされると、倭は百済再興のため大軍を派遣した。倭・百済軍は白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗し、百済復興は失敗した。新羅・唐の倭への侵攻を恐れた朝廷は、都を内陸部の大津に移した。</p>
<p>㉖ (1) 天平</p> <p>㉖ (2) 国風</p> <p>㉖ (3) エ</p> <p>㉖ (4) 摂関政治</p>	<p>㉖ (1) 聖武天皇の天平時代を中心に栄えた、貴族と僧を中心とした文化である。</p> <p>㉖ (2) 国風文化は 10 世紀ごろから栄えた。貴族を中心とした優美な文化である。</p> <p>㉖ (3) アは「土佐日記」を著し「古今和歌集」の編集も行った。イは随筆「枕草子」の作者、ウは奈良時代の歌人で「万葉集」に多くの和歌をのこしている。</p> <p>㉖ (4) 天皇が幼少のときは摂政、成人してからは関白として政治を行った。</p>